

医療機関等におけるより高度な医療安全のためのバーコードの活用に関する研究(22KC2002)
(3)モデル・指針作成

ピッキングバーコード照合ログのあるべき姿：				K病院、○病院、その他非公開				あるべき姿
【何を】								
	※対象全レコードを保有していること（照合したもののみの情報ではない）							
	照合しなかった（できなかった）ものも重要な情報							
必須①	薬品コード（ローカル内部コード）			○	○			◎
必須②	処方箋識別コード（オーダ番号 or 調剤システム内部番号）			○	○			◎
	※処方修正時など版が区別可能であること（バージョン管理）							
必須③	処方箋内での薬品位置情報（Rp番号、Rp内番号）			×	△（標準は×）			○
	※注射の場合、1日4回2Vずつの抗生剤の場合、施設によって							
	8回照合、4回照合、1回照合など運用が様々であることに対応できること							
	※1処方箋に同一薬剤が複数回処方される場合、施設によって、							
	都度照合、1回（合算）照合など運用が様々であることに対応できること							
拡張①	必須①のローカルコードが意味するローカル医薬品名			○	○			◎
拡張②	標準医薬品コード（YJコード or レセ電コード）			○	×			○
	※薬局でも運用可能な仕組みを目指すのであれば、YJよりレセ電の方が利用可能性が							
	高い可能性がある							
拡張③	標準医薬品コードが意味する承認医薬品名			×	×			○
	※ローカルマスタからではなく、全件マスタから参照・抽出することが望ましい							
	拡張①ローカル医薬品名と拡張③標準医薬品名の比較によりコード誤登録							
	の検出が可能となる							
拡張④	当該医薬品の配置場所（棚番号）			○	×			○
	※ピッキング者の行動（ピッキング順序等）を解析する場合に必要							
拡張⑤	ロット番号（現状では、販売包装にのみ表示だが、将来拡大する可能性もあり）			○	×			○
拡張⑥	有効期限（現状では、販売包装にのみ表示だが、将来拡大する可能性もあり）			○	×			○

(3)モデル・指針作成

あるべき姿

必須②ローカル医薬品名と拡張②標準医薬品名の比較によりコード誤登録の検出が可能となる

拡張③	読み込まれたバーコードが意味する包装規格単位
-----	------------------------

	X
--	---

	X
--	---

※あまり活用機会はないかもしれないが、コード上は情報を有しているので、標準フルマスタを参照可能であれば、情報抽出が可能

【結果】

必須①	照合結果（認証OK、認証NG、重複、回避、手動、…）
-----	----------------------------

C

△ (OK/NGのみ)

※回避や手動など未照合時の選択肢は、施設により異なる可能性がある

必須②	認証NGだった場合、本来照合すべき医薬品名
-----	-----------------------

※処方箋（指示箋）の上から順番に照合していく仕様の場合は、容易に本来照合すべき医薬品を特定可能
順不同でピックアップ可能な仕様の場合は、その直後（●秒以内）に、照合OKとなった医薬品を
本来照合すべき医薬品とみなす。等、客観的な基準が必要

【解析ツール】

必須① ピッキングログの長期間データ保存（最低●年）

6力月

システム動作に影響がある場合は、別途ログ専用ファイルとして日次や月次などの単位で吐き出してもよい

その場合、自動で日次処理・月次処理による吐き出しが行われること

解析ツールにおいて、期間指定するだけで指定のログファイルを順次読み込み自動で統合すること

拡張①	任意の指定期間におけるピッキング者別の誤ピッキング率 (csvダウンロード+グラフ化)
-----	---

	0
--	---

拡張②	任意の指定期間における時間帯別の誤ピックアップ率 (csvダウンロード+グラフ化)
-----	---

Q	
---	--

拡張③	任意の指定期間における曜日別の誤ピックアップ率 (csvダウンロード+グラフ化)
-----	--

拡張④ 任意の指定期間における誤ピックアップ上位薬品（数&率）（csvダウンロード+グラフ化）

【統合解析ツール】

拡張① 施設の同意のもと、個人情報データをマスクしたログを吸い上げて、第三者ベンチマーク機関等へ提供し、全国平均との比較情報等をフィードバックする

拡張② 施設の同意のもと、個人情報情報をマスクしたログを吸い上げて、自社内で解析し、自社顧客における全国平均との比較情報等をフィードバックする